

# あがつま



年間聖句

『兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。』

(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

♪ 賛美歌を歌おう④  
『ちいさなごに』

讃美歌第二編 .. 26番)

六月といえば 花の日。こどもの日” ということで今月はこの曲をピックアップしました。

花の日・子どもの日” は一八五六年に、マサチューセッツのチャールズ・レオナルドという牧師が、自らの牧する教会で、両親が子どもを神様に捧げる日として礼拝を守ったことが始まりだそうです。この子どものための主日は、様々な教会でも試みがない。され、当時のアメリカの教会全域へと拡大していきましました。そして、次第に子どもの祝福の礼拝に花が持ち込まれることとなり、持ち寄った花を礼拝の後に病者やお世話になった人々に届けるといいう

習慣が生まれ、さらには子どもたちが奉仕と感謝を実地に学ばせると言う意味合いをも持つようになったようです。この曲は、一九〇三年にアメリカのアリス・クリューターによって作詞されました。彼女についてはあまり詳しいことは知られていませんが、子どもたちのための賛美歌を多く残しています。賛美歌四九五番「うるわしの白百合」も彼女が作詞したものです。『ちいさなごに』は、作られた時期や場所、また歌詞の内容的に見ても、花の日・子どもの日” のために作られた賛美歌だと考えてよいでしょう。神様が私たちを用いてくださる喜びを共に歌いましょう。

稲垣真実)